

備前市事務事業評価シート

事業の概要		平成18年度～		根拠法令・例規等	高齢者等の雇用の安定等に関する法律・備前市シルバー人材センター補助金交付要綱
総合計画	大項目	基本目標	02	健康でやさしさあふれるまちづくり	
	中項目	基本施策	01	やさしさあふれるまちづくり	担当課(室) 介護福祉課
	小項目	施策	04	高齢者福祉	職・氏名 高齢者福祉係長 森中信行
事務事業名		09	シルバー人材センター補助事業		電話 64-1827
					このシート作成に要した時間 1.5 時間

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的		備前市シルバー人材センター	Plan
対象(誰・何に対して)			
目的(何のために)	シルバー人材センターの運営が円滑かつ適正に行われるよう支援するため		
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	シルバー人材センターに補助することにより、高齢者に就業の機会等を提供し、高齢者自身の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに活力ある地域社会をつくりだす		

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績				Do
細事業名	事業の説明		優先度	
シルバー人材センター補助事業	豊富な知識、経験、技能を生かし、働きたい高齢者に対して、就業の機会を提供することを目的として平成18年に設立された(社)備前市シルバー人材センターへ補助金を交付する			
目的を達成するため実施した事業				

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績		
決算額	直接事業費		8,550	9,550	9,550		
	必要人員(人件費)	千円	0.01人	100	99	0.03人	312
	事業費		8,650	9,649	9,862		
	事業費計						
財源	国県支出金						
	受益者負担						
	繰入金						
	その他( )						
一般財源			8,650	9,649	9,862		
受益者負担比率		%	-	-	-		
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績		
結果指標	会員数	説明	備前市シルバー人材センターの会員数				
	結果指標量	事業	182	196	202		
	対前年比	%	-	107.4%	103.1%		
	活動コスト	円	8,650,000	9,649,000	9,862,000		
単位当たりコスト			49,230	48,822			

(平成22年度事業)

事業の成果		年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
成果指標名	年間就業延人員(人・日)	目標値(A)	14,000	14,000	15,000	16,000
		実績値(B)	12,459	13,387	14,884	到達目標値
		達成率(B/A)	88.99%	95.62%	99.23%	20,000
成果指標設定の考え方・式や説明						
就業延人員は会員の就業機会を示し、就業機会の増加はシルバー人材センターの運営安定化につながる。						

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A~E> <b>B</b>
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A~E> <b>C</b>
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参加している	有効性評価 <A~E> <b>B</b>

事業の目的やその数値目標がある成果指標を評価

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	国庫補助金が大幅に削減され、運営状況が厳しく、市補助金の増額の検討が必要となっている					

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	評価区分 <A~E> <b>B</b>	妥当性  効果性 効率性
平成18年の設立後、順調に会員数、仕事量を伸ばしているが、営利を目的としない団体であるので補助金継続は必要。				

平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	シルバー人材センターには 受件件数の増 コスト削減 家事、介護など新分野の開拓等による経営努力を求め、補助金の増加は最小限に抑えるよう取り組む。					

Action